

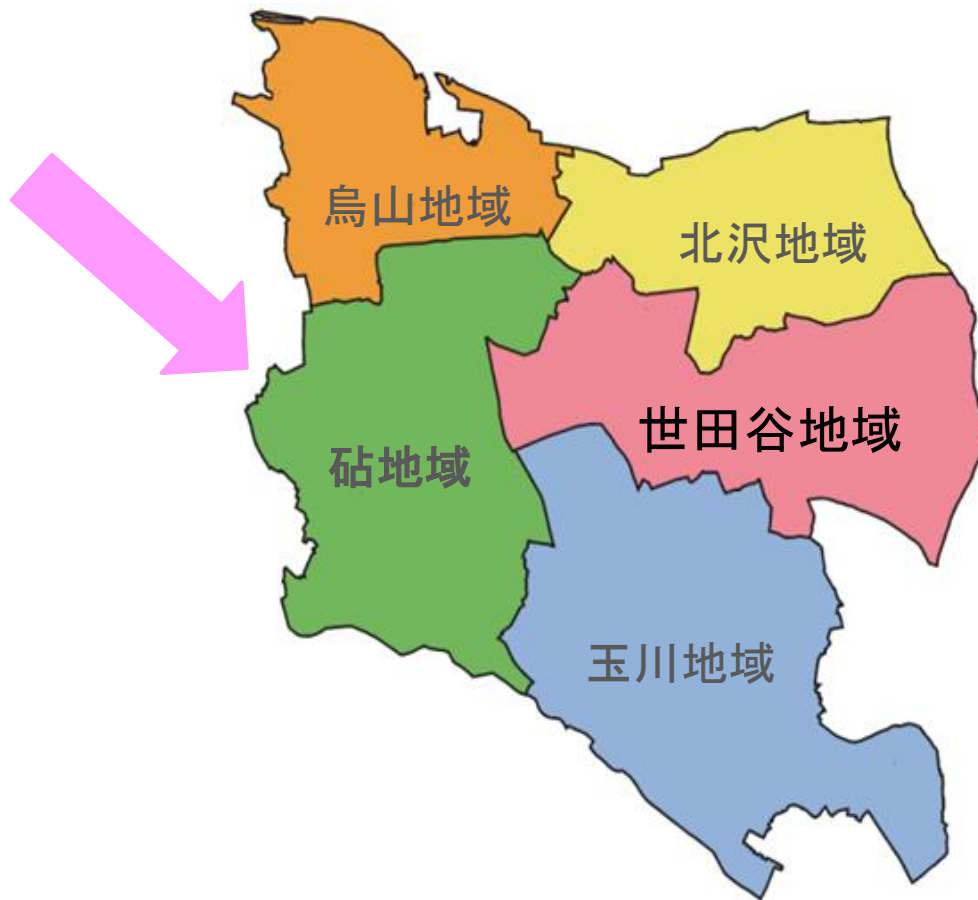


世田谷区  
SETAGAYA CITY

# 砧地域 タウンミーティング

～より良い地域づくりを考える～

令和5年11月25日(土) 午後2時～午後4時  
砧総合支所・成城ホール集会室C・D



6月～9月

# 車座集会

Step  
01

砧地域内の5つの地区で開催。  
計 116名が参加。

反映

# タウンミーティング

Step  
02

- 車座集会で出た意見
- 地域経営方針素案

反映

(仮称) 地域経営方針



28地区実施



5地域実施

11月

# 車座集会での各地区の意見紹介

# 祖師谷まちづくりセンター



6月25日(日)に開催しました。

## 特性

- 道路が狭い、木造住宅が密集
- コミュニティバス(せたがやくるりん)が地区の重要な交通手段
- ウルトラマン商店街が大賑わい

千歳台  
1-2丁目

祖師谷

## 課題

- 火災への備え、特に初期消火や延焼防止等、安全安心のまちづくり
- 高齢者の認知機能や足腰の筋力低下
- 子育てに不安や悩みを抱える家庭が増加


## ビジョン

笑顔あふれる支えあいのまち  
祖師谷

## 取り組み

- 自治会ではスタンドパイプ等の積極的な配備
- 運動サロンやお買い物ツアー等の実施
- 子育て支援者や支援機関との連携強化・ネットワーク化

## 意見① 地域防災力の向上

- 
- 避難所運営に関して、行政の方にもっと入ってほしい。発災の際は、行政職員がいち早く駆けつけてもらう体制を作ってほしい。
  - 祖師谷地区内に270か所消火栓があるので、スタンドパイプを区道の消火栓の近くに設置してほしい。
  - 家庭用消火器の助成を検討してほしい。

## 意見② 未来につなぐ魅力的な街づくり

- 隅切りに電柱があり大型車が角を曲がること  
ができない。これらの対策をすれば狭い道で  
も消防車が入れるのではないか。
- 公社祖師谷団地の建て替えに合わせて、大型  
バスの発着場を整備してほしい。
- くるりんバスは、高齢者の利用が多く混み  
合っている。増便できないのか。



## 意見③ 多様な地域コミュニティの向上と 住民主体のまちづくり

- 地区ビジョンづくりを地域住民と一緒に考えていくことで、自分事としてとらえることができる。地区の課題解決と将来像の実現に向け、いろいろな活動を地域の方々が連携して取り組んでいく必要がある。
- 杖をついたり、車いすを利用する方にとっても、気軽に行ける居場所がほしい。



# 成城まちづくりセンター



7月15日(土)に開催しました。

## 特性

- 関東大震災後、開発された学園都市
- 駅を中心に、交通アクセスが整っている
- 国分寺崖線など、緑が多く残っている
- 高齢化率が高い一方、日中は若者が多い

成城

## 課題

- 高齢者等の孤立化
- 高齢男性の地域参加
- 災害時への備え・事業者と住民同士の共助
- 子ども・若者・子育て世代が繋がる場
- 緑の保全、環境への理解促進

## ビジョン

みどりと文化の薫る学園都市 成城

## 取り組み

- 成城8989ネットワーク
- 成城セカンドコミュニティ会議(SSCK)
- 災害時安否確認標識掲出などの防災活動




## 意見① 地域防災力の向上

- 地域の防災力を高めていきたいが、自治会員数が減少している課題がある。
- まちづくりセンターの防災予算が少ないので、予算や人員を増やしてほしい。



## 意見② 地域の見守り活動への支援



多世代が参加・交流しながら、地域で高齢者などを見守る活動(成城8989ネットワーク)をしているが、運営費がない。

不定期開催のカフェや相談会など、地域住民に浸透しつつあり、居場所や生きがいになっている。助成金や人的支援をしてほしい。

## 意見③ 歩きやすい安全な道路、広場、交通

- 区道に凸凹が多くて、転びそうになることが多い。総点検してほしい。
- 駅周辺の広場では、地域のお祭りなどが開催されるが非常に狭い。
- 高齢者は、徒歩で10分の移動も大変。活動拠点への交通不便をなんとか解消してほしい。



## 意見④ イベント開催場所の偏り

- 施設やイベント開催は、区内の東部が多く、西部(砧地域は西部に入る)では少ない。偏りがあるので改善してほしい。
- 今年に入って、会議やイベント開催が対面形式に戻りつつあるが、外出しにくい状況にあっても参加できるように、オンライン活用を継続してほしい。



## 意見⑤ DX(デジタルトランスフォーメーション)

単にデータをデジタル化するのではなく、もっと根本的なことをイノベーションしないと新しい価値は生まれない。ぜひ、予算も含めてDX(デジタルトランスフォーメーション)を本気で推進してほしい。



# 船橋まちづくりセンター



8月20日(日)に開催しました。

## 特性

- 子育て世帯や子ども人口が増加
- 大規模集合住宅などで高齢化が顕著
- 青少年健全育成活動が活発
- 船橋と千歳台で街の雰囲気異なる

千歳台

3~6丁目

船橋

## 課題

- 世代間交流が希薄化し、多世代が関わる居場所や困りごと解決の場が少ない
- 子育て世帯や子どもの人口増加による子育て支援需要の増加
- 高齢化により、互助見守り体制構築が困難

## ビジョン

みんながつくる賑わいと活気のあるまち 船橋

## 取り組み

- 希望ヶ丘団地協議体 高齢者を支えあう会
- 都営船橋4丁目住宅協議体
- 高齢者の孤立対策や居場所の確保

## 意見① 地域防災力の向上

- 他地区での防災活動を見習い、町会で災害時安否確認カードを作成し、町会員に配布したが、町会区域内全世帯数の半数にも満たない数しか配布できない。
- 町会自治会への加入率問題などにも関係するが、防災の取組みを各町会・自治会に任せるとはならず、区全体として取り組んでほしい。



## 意見② 住みやすい街づくりへの積極的取組と 支援

- 空き家問題や、野生鳥獣による被害、地域猫の増加など住民だけでは解決が難しい問題に区が積極的取組んでほしい。
- 区と区民とで作り上げた街づくり計画などがきちんと順守されるよう配慮してほしい。





## 意見③ 地域活動、地域活動団体への積極的 支援

コロナ禍で希薄になった様々な関係性や、見えにくくなった問題の修復、解決に取り組む活動や活動団体に、区として積極的に支援をしてほしい。



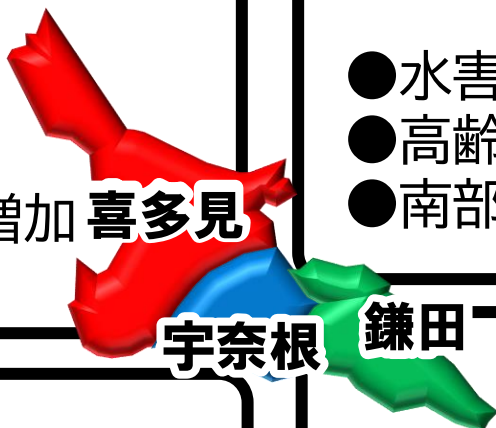
# 喜多見まちづくりセンター

6月25日(日)に開催しました。



## 特性

- 自然に恵まれる反面、水害に弱い
- 交通がやや不便な地域がある
- 宅地化の進行により子どもの数が増加
- 駅から離れると医療機関が少ない



## 課題

- 水害対策の必要性
- 高齢者のみ世帯や単身高齢者の孤立化
- 南部の買い物不便地域の対策

## ビジョン

歴史と自然を守り子ども達で活気あふれるまち 喜多見

## 取り組み

- 水害対策視点の防災講話や土地区画整理事業の施行、鎌田1丁目地区地区計画の策定
- 宇奈根移動販売会と買い物ツアーの定期開催
- 多世代交流や顔の見える関係づくりによる見守り強化

## 意見① 地域防災力の向上

明正小学校が避難所となっているが、野川を超えて国分寺崖線の坂を上って避難することは難しい。喜多見地区会館を防災の拠点にできないか。また老朽化の著しい喜多見地区会館の改修または建て替えも検討してほしい。




## 意見② 防犯カメラの積極的な設置と運用

犯罪対策のみでなく、ペット糞のマナー対策にもなるので、防犯カメラの設置を積極的に進めてほしい。また防犯カメラに関する町会・自治会への補助制度についても申請から補助が出るまでの期間を短くするなど、使いやすい制度運用を検討してほしい。




## 意見③ 予約制乗合ワゴンをもっと便利な運用に



東急バスの玉04系統のオンデマンドバスについて、二子玉川駅まで一本で行きたい。解決策がないか、区からバス会社に働きかけてほしい。

## 意見④ 中高生と小学生の居場所づくり



中高生の自習や学習支援の点から、中高生が自習のできる居場所を作ってほしい。また小学生の居場所づくりの充実も図ってほしい。

## 意見⑤ 小中学校のトイレ洋式化と通学負担の 軽減

和式トイレでは障害のある子どもはトイレに行きにくいので、小中学校のトイレの洋式化をもっと進めてほしい。また学校カバンが重すぎる。全国に先駆けてこの状況を変えてほしい。



# 砧まちづくりセンター

9月10日(日)に開催しました。



## 特性

- 住宅地と農地が融合したみどり豊かなまち
- 大規模な施設が数多く立地している
- 子どもが多く子育て世代が多い
- 起伏のある土地で交通がやや不便

## 課題

- 交通不便の解消
- 増加する子どもへの子育て支援の充実
- 大規模集合住宅の建替に伴うコミュニティづくり

## ビジョン

まちを知り、まちを守り、  
次代を育み、未来を語り合う  
交流の輪が広がるまち 砧

## 取り組み

- 地区最大のイベント「砧地区緑化まつり」
- 目指せ！多世代での見守り  
「きぬたでがやが家(や)」
- 交通不便解消「予約制乗合ワゴン」の運行





## 意見① 地域防災力の向上

避難所のスペースが足りないことはよくわかるし、在宅避難の必要性もわかる。

しかし、なぜ在宅避難が必要なのかをもっと丁寧に説明しないと区民には伝わらない。

安否の確認方法ももっと検討しなくてはならないと感じている。



## 意見② 未来につなぐ魅力的で 持続可能な住民主体の地域づくり

- 駅前広場など多くの人が行き交う場所にトイレを設置してほしい。
- 多目的トイレを増設してほしい。その際に内部障害のある人が使ってもつらい思いをしないための広報や啓発をしてほしい。



## 意見③ 地域の交通安全

- 狭い道が多く、見通しの悪い交差点も多い。カーブミラーなどを増やして安全を確保してほしい。
- スピードを出す車も多いので減速させるような取組みをお願いしたい。
- 電動キックボードも普及してきた。事故が起きないように早めに対策をしてほしい。



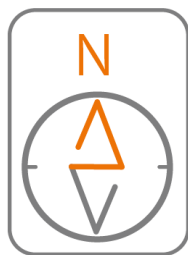
## 意見④ 予約制乗合ワゴン

- 砧・大蔵エリアで実証運行を行っているが、もっと気軽に乗れるような工夫がほしい。
- 現在は月・水・金の8時30分から18時までの運行だが、毎日運行して、運行時間も広げてほしい。
- もっと便利になるように乗降地点を増やしてほしい。



# テーマ別の意見交換

# タウンミーティング (支所内基盤整備状況等)



砦地域の骨格と  
土地利用の方針図



市活力と交通の軸



主要生活交通軸



- |  |                     |  |        |
|--|---------------------|--|--------|
|  | 駅周辺商業地区             |  | 高速道路   |
|  | 近隣商店街地区             |  | 幹線道路   |
|  | 幹線沿道地区              |  | 地区幹線道路 |
|  | 地区幹線沿道地区            |  | 主要生活道路 |
|  | 低層住宅地区              |  | 鉄道・駅   |
|  | 住宅地区                |  |        |
|  | 住商複合地区              |  |        |
|  | 準工業地区               |  |        |
|  | 都市公園等               |  |        |
|  | 大規模な敷地(公共公益施設)      |  |        |
|  | 大規模な敷地(住宅団地等)       |  |        |
|  | 水と緑の風景軸(国分寺崖線とその周辺) |  |        |
|  | 環境保全ゾーン(河川環境地区)     |  |        |

## 砧地域概要

- 1 住宅地が広がる台地と、農地と住宅が混在する多摩川沿いの平地からなり、貴重な湧水や植物、樹林地を持つ国分寺崖線が広がるみどりとみずが豊かな地域
- 2 大規模敷地の土地利用転換等により人口が増加の傾向
- 3 ウルトラマン商店街をはじめ地域の特性に合った個性的な商店街
- 4 地区ぐるみの祭りが定着し、住民相互の交流も活発に行われている

## 砧地域の課題

- ・地域の防災(震災、水害)意識の向上
- ・地域を支える道路ネットワークの整備・駅周辺のまちづくり
- ・子育て世代などすべての人への相談の機会提供と支援
- ・商店街におけるにぎわいと元気あふれる地域コミュニティの形成
- ・地域の資産や資源を継承・活用した地域特性あふれるまちづくり
- ・国分寺崖線や野川、仙川、多摩川などのみどりとみずの保全・創出
- ・自然を守り育成する良好な住環境
- ・みどりとみずが調和したまちづくり

# 砧地域経営方針（素案）

■災害に強い安全・安心のやすらぎのあるまち

■みどり豊かで持続可能なライフスタイルを実現するまち

■歴史と伝統を大切にあらゆる世代のにぎわい・交流のあるまち





# 砧地域 タウンミーティング テーマ(1)

## 地域防災力の向上

～コミュニティでつなぐ防災意識向上(自助・共助)～



令和5年9月11日開設 避難情報や避難所の開設情報など様々な情報や、  
平時においても日頃からの備えに役立つ情報を掲載しています。

# 被害想定

新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化をはじめ、東京都は最新の知見等を踏まえた首都直下型地震等による東京被害想定を新たに行い、令和4年5月25日に公表されました。(約10年ぶりの見直し)

## 世田谷区の新たな被害想定

①被害を受ける建物棟数の想定は、25,757棟(▲2,044棟)

②停電率は、18.9%(▲0.5%)

③上水道の断水率は、23.2%(▲7.6%)

④下水道管きよ被害率は、5.6%(▲19.1%)

⑤避難者数は、

発災1日後は、 177,989人(うち避難所生活者数151,290人)

発災4日～1週間後は、 252,337人(うち避難所生活者数168,224人)

発災1か月後は、 174,580人(うち避難所生活者数 52,374人)

となっています。

# 避難生活者の想定と砦地域の人口等

## 1. 避難所で避難生活を送る者（避難生活者）の想定（全区）※再掲

発災 1 日後	1 5 1, 2 9 0 人
4 日～ 1 週間後	1 6 8, 2 2 4 人
1 か月後	5 2, 3 7 4 人

## 2. 世田谷区の避難所

指定避難所（全区）	9 5 か所
指定避難所（砦地域）	1 8 か所

## 3. 砦地域の人口と世帯数（令和 5 年 4 月 1 日現在）

人口	1 6 4, 7 1 6 人
世帯数	7 9, 1 8 6 人

# 在宅避難のすすめ

① <small>いっとき</small> 一時集合所	危険回避のために一時的に集合して様子を見る、または、避難のために一時的に集合するところで、区内に約 490 か所指定されています。
② 広域避難場所	火災の延焼などにより自宅、一時集合所が危険な状態になった場合に避難する場所です。区内外 24 か所を指定しています。

余震が収まり火災などの危険がないことを十分確認して

## 自宅の安全を確認

自宅が安全である

在宅避難

被災していない家族、  
親族、知人への連絡が  
取れる

縁故避難

自身で被災していない  
宿泊施設を確保できる

自主避難

火災や倒壊によって  
自宅で過ごすことが  
できない

指定避難所

## 避難所に行くことだけが避難ではありません

避難所はスペースや備蓄が限られており、環境の変化などによって体調を崩す人もいます。また、過密状態になると感染リスクも高まります。自宅で生活できる状況であれば、**在宅避難**をしましょう。そのために、日ごろから住宅の耐震化や家具の転倒・落下・移動防止を行い食料や水など必要なものを備えておくことが大切です。また、自宅に被害がある場合でも、被災していない家族や親戚、知人の家に避難する**縁故避難**や、被災していない宿泊施設を自身で確保して避難する**自主避難**という方法があることを知っておきましょう。事前に話し合いや情報収集をしておくことが重要です。

指定避難所は自宅での居住継続が困難な場合、または二次災害を受ける可能性のある場合に一時的に受け入れ、保護するための施設です。

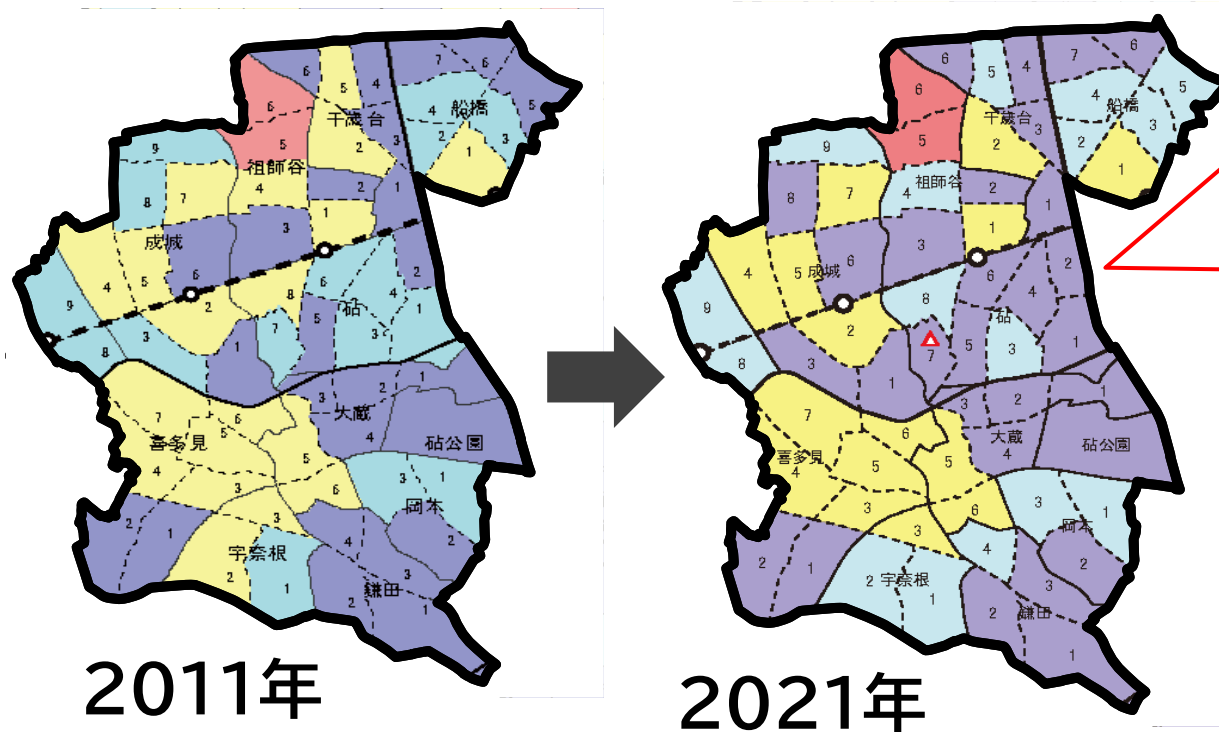
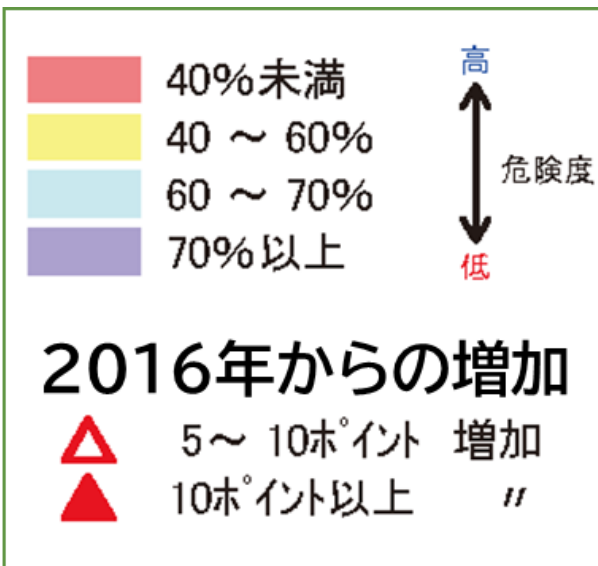


# 建築物の不燃化

砧地域の不燃化領域率は上昇してきており、安全性は高まっていますが、まだ、延焼の危険性が高い地区もあります。

※区では「延焼による市街地の焼失率がほぼゼロになると言われる不燃領域率70%の達成」を目指し、建築物の不燃化を推進しています。

## 町丁目別不燃領域率



10年で不燃化領域率70%の地区が4つ増えました。

# 水害対策

- ハザードマップとは、自然災害による被害想定区域や避難場所・避難経路などを表示した地図です。
- 河川や下水道に流れ込む雨水を減らす、雨水浸透施設の設置をお願いします。
- 必要に応じて土のうを持ち出せる「土のうステーション」を砦地域では17か所設置しています。
- この他、樹林地保全など、みどりが持つ多様な機能を活用したグリーンインフラの整備を進めています。



# 水害への備え

砦地域には、多摩川や野川・仙川があり、地区によっては水害のリスクがあります。国分寺崖線沿いには土砂災害(特別)警戒区域も指定されています。区ではハザードマップにより危険区域の周知を行うとともに、水害に対する訓練も行っています。

令和元年台風19号による被害:

床上浸水2件、一部損壊37件、半壊16件、避難者数2,919人

# 砧地域における活動例

## ●ペット同行避難訓練(山野小学校避難所運営委員会)

年1回の避難所運営訓練に獣医師を招き、ペット同行避難に伴う避難所運営などについてのアドバイスをもらっています。

## ●安否確認標識掲出訓練

震災時に安否を報せるためのカードを掲出し、掲出されていない世帯に対しては、近隣で助け合って救助活動を行うこととし、平時から訓練を行っています。



(成城地区の例)

## ●消防資機材の訓練

消防署や消防団と連携し、町会・自治会によるD型可搬式消防ポンプやスタンドパイプによる放水訓練を行っています。



# 砧地域 タウンミーティング テーマ(2)

## 未来につなぐ魅力的で持続可能な 住民主体の地域づくり

～多様な地域コミュニティの向上、みどりとみずの  
保全・創出をめざして～



# 砧地域における活動例

## ●船橋小<sup>こ</sup>径<sup>みち</sup>の会

土の道とビオトープにより選定された「季節の野草に出会う小径」、能勢邸の面影を伝え、池があることにより選定された「水辺のある能勢公園」の素晴らしさを地域にPRし、身近な風景・環境の大切さを伝えつつ、保全・育成・魅力を創出し、地域の原風景再生につなげていく活動をしています。

## ●認知症カフェ『キヌタdeカフェ』

砧地区の方々と一緒に、きぬた福祉の相談窓口が連携しながら作り上げた地域による地域のためのカフェを行っています。



# 砧地域における活動例

## ●みんなの子育て広場

子育ての専門家の協力により、子育ての不安や疑問の解消、ママ友づくりなど、交流の場を提供しています。

- ・助産師による子育てのお話
- ・図書館司書による読み聞かせ講座 など

## ●いのちの授業

多感な中学3年生を対象に、本物の赤ちゃんを抱っこしてもらい、自分が親になった将来の姿を考えたり、命を大事にするいたわりの心を育む取組みを行っています。



# 砧地域における活動例

## ●身近なまちづくり推進協議会

「住みやすいまち世田谷」の実現に向けて、行政と協働しながら、まちづくりに関する身近な問題を解決していく、区民の皆さんによる活動を行っています。

- ・スポーツチームとの「健康講座」
- ・環境美化活動の「ポイ捨て防止キャンペーン」
- ・緑化活動の「駅前広場花壇の手入れ」 など



リコーブラックラムズ東京との健康講座



中学生との清掃活動



駅前広場花壇の手入れ

# 注意事項

## 意見票

- 本日発言できなかったご意見については、お配りしている「意見票」を砧総合支所地域振興課 計画・相談担当もしくは、最寄りのまちづくりセンターへご提出ください。
- この場でご提出いただいても結構です。
- 各地域タウンミーティングのホームページからも11月30日までご意見を提出いただけます。

## アンケート

- 受付職員までお渡しください。